

【やすらぎ堤キャンプ (河川管理者、新潟市職員、SP 社員によるモニタリング)】

作成者：荒牧 翔太



実施期間時間：8月6日12時～7日12時

実施人数：スノーピーク4名(吉野・王治・荒牧・大竹)

北陸地方整備局河川部3名(越野・横山・小坂)

信濃川下流河川事務所3名(木伏・丸山・高橋)

新潟市役所5名(西野・堀之内・加藤・佐藤・樋熊) 計15名(内宿泊12名)

上記敬称略

天候：8月6日、7日共に晴れ

設営内容：手ぶらキャンププラン内容(大型テント)×2張

タープ2張

テント4張

場所：やすらぎ堤左岸(八千代橋付近)

〒951-8053 新潟県新潟市中央区川端町4丁目付近

・スケジュール

6日

13時：集合、搬入及びタープ、備品の設営。

15時：各寝室用テント設営、スノーピークスタッフによる設営講習



16時：避難経路の確認(キャンプ地～ダイアパレス本町)

17時：買い出し

水辺アウトドアラウンジ出店者へ夕飯を受け取り



18時：食事、ミーティング

食事内容は、出店者提供料理

20時：焚火（焚火台2台）



24時：就寝

夜間巡回(0時、2時、5時)：天候チェック→異常なし

7日

6時：起床

6時半：ラジオ体操に参加。（地域住民の皆様との交流）



7時：朝食（ホットサンド、コーヒー）

8時半：朝食後、キャンプ実施について話し合い。

9時：テント撤収講習を行い、撤収作業を行う。

10時：ゴミ拾い、完全撤収

**\*問題点\***

- ・地域住民への周知
- ・熱中症への指標の考慮
- ・安全対策（街中でのキャンプについて基準が必要）
- ・大型テント（手ぶらプラン）の実際の運用
- ・他信濃川下流河川事務所占用調整課長丸山様より別紙にチェック項目参照。
- ・施設整備（トイレ、風呂）
- ・津波避難ビルへの案内方法

**\*本格運用に向けての懸念事項\***

- ・公共空間の占用(キャンプエリアの周知)
- ・熱中症への対策
- ・焚火の火の管理について（街中の為、火災への対策は徹底）
- ・天候条件（河川の氾濫等に注意）
- ・防犯への対策（街中の為、人の出入りが多い）
- ・ゴミ処理（生ごみ）
- ・周辺施設、設備（トイレ、風呂）

**\*所感\***

第二回目モニタリングキャンプは河川管理者の皆様、市役所職員の皆様との実施。

今回の天候は晴れ。風も抜けキャンプしやすい天候ではあったが、設営等の作業は熱中症の危険性が十分考えられる気温でした。キャンプのスケジュールに関しては大幅な変更もなくスムーズに実施。問題もなく実施できたが、ご指摘いただいた通り、安全対策、天候管理など、災害、被害への備えといった点でまだまだ不足していると感じた。

今回は第二回ということで、普段キャンプをされない関係者方も多い中、皆様にご参加していただき、実施できたこと、大変嬉しく思います。また、弊社が提案するキャンプのスタイルを参加された皆様に体験していただき、楽しんでいただけたことは、本事業の本格化に向けて少し前進できたのではないかと考えております。一方で、一人のキャンパーとして一泊してみた感想で言いますと街中の空間で、人里離れた自然豊かな環境で行うキャンプをそのまま実施したという印象を持ちました。同時に、これから街中でのキャンプ（アーバンキャンプ）を本格運用していくにあたり、普段のキャンプとは異なり、また、グランピングと

は異なる、新たなキャンプスタイルの提案、構築をしていかなければいけないと感じました。“街中でキャンプをする”この【街中】といったキーワードがとても重要であり、そこをどう構築するのか、また、キャンプを通じて自然ではなく、街を体感できるような、そのような形が Urban Camp の魅力になるのではないかと思います。朝、地域住民の皆様との交流はとても新鮮で、有意義な時間でした。今回のキャンプを実施し、地域住民の方からは興味を持って頂き、協力的なお言葉を頂けたのが印象的でした。